



2020年8月31日

各 位

会 社 名 日本精蠟株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長
 社長執行役員 安藤 司
 (コード番号 5010 東証第2部)
 問 合 せ 先 取締役
 執行役員総務部長 濱島 学
 (TEL 03-3538-3061)

第2四半期予想との差異、通期業績予想の修正、デリバティブ損失及び棚卸資産評価損、
 中間配当の見送り及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2020年12月期第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)において、2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想値の修正、デリバティブ損失及び棚卸資産評価損について、以下のとおりお知らせいたします。

また、2020年8月31日開催の取締役会において、剰余金の配当(中間配当)を見送らせていただくことを決議いたしました。あわせて期末配当予想も修正いたしますので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想値との差異について

2020年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異(2020年1月1日～2020年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------------|---------------|-----------|-----------|--------------------------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 11,800 | 百万円 90 | 百万円 10 | 百万円 10 | 円 銭 0.51 |
| 実績値(B) | 10,824 | △2,294 | △2,987 | △3,033 | △153.63 |
| 増減額(B-A) | △975 | △2,384 | △2,997 | △3,043 | — |
| 増減率(%) | △8.3 | — | — | — | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2019年12月期第2四半期) | 13,871 | △395 | △430 | △263 | △13.33 |

(差異理由)

新型コロナウイルス感染拡大下における急速な経済活動の減退に伴い、国内外におけるワックス販売の大幅減(特に第2四半期)、及び上期(1-6月)の原料コストの安定化のために実施していたデリバティブが、原油価格の3月からの暴落により損失を計上することになり、また第1四半期からの高値在庫も含め棚卸資産評価損が拡大し、2020年2月14日公表の業績予想との差異が生じました。

2. 業績予想の修正について

2020年12月期通期連結業績予想の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------------|------------|------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 25,500 | 百万円 400 | 百万円 250 | 百万円 200 | 円 銭 10.13 |
| 今回修正予想（B） | 21,800 | △2,000 | △2,750 | △2,800 | △141.78 |
| 増減額（B－A） | △3,700 | △2,400 | △3,000 | △3,000 | － |
| 増減率（％） | △14.5 | － | － | － | － |
| （ご参考）前期実績 （2019年12月期） | 27,265 | △655 | △767 | △848 | △42.95 |

（修正の理由）

下期は業績の回復を見込んでおりますが、第2四半期連結累計期間までの損失を挽回することが困難と判断し、通期連結業績予想を修正するものであります。

3. デリバティブ損失の発生及び棚卸資産評価損の計上

原油価格の急落により、原料取引に係るデリバティブ取引（固定買・変動売の原油スワップ取引）に係る損失1,640百万円の発生及び棚卸資産評価損1,527百万円の計上を行いました。なお、原料取引に係るデリバティブ損失は原材料の取得原価に計上しておりますが、ヘッジ会計終了分等は営業外費用に計上しております（618百万円）。また、棚卸資産評価損は売上原価に計上しております。

4. 剰余金の配当（中間配当）見送り及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）見送りの内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 （2020年2月14日公表） | 前期実績 （2019年12月期中間配当） |
|----------|------------|---------------------------|-------------------------|
| 基準日 | 2020年6月30日 | 2020年6月30日 | 2019年6月30日 |
| 1株当たり配当金 | 0円00銭 | 5円00銭 | 5円00銭 |
| 配当金総額 | － | － | 98百万円 |
| 効力発生日 | － | － | 2019年9月2日 |
| 配当原資 | － | － | 利益剰余金 |

(2) 当期の配当の内容及び期末配当予想修正の内容

| | 年間配当金(円) | | |
|---------------------|----------|-------|--------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 | 5円00銭 | 5円00銭 | 10円00銭 |
| 今回修正予想 | 0円00銭 | 未定 | 未定 |
| 当期実績 | － | － | － |
| 前期実績 （2019年12月期） | 5円00銭 | 5円00銭 | 10円00銭 |

(修正の理由)

上述のとおり、第 2 四半期累計期間及び通期で大幅な損失を計上する見込みであることから、誠に遺憾ながら剰余金の配当(中間配当)は見送りとさせて頂き、期末の配当につきましては未定とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期の業績回復に努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上